

# 情報連絡員総括表 (2022年9月)

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 中央会・行政への要望
5. 主要三指標におけるDI 値の推移 (グラフ)

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値  $\pm 0.0$ (=横ばい)で推移  
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 (回答者数 59 名 : 回収率 98.3%)

○2022年9月のDI 値は、前月との比較において、「雇用人員」を除く8指標が悪化した。

非製造業が横ばい傾向を維持している一方、製造業の落ち込みが大きく、全体が悪化した。製造業、非製造業ともに、依然、原材料やエネルギーコストの高騰、コストアップを価格転嫁できない厳しい状況を訴えている。

○「製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」を除く8指標が悪化。「在庫数量」のみ改善した。6月から続いていたプラスのDI 値はマイナスに転じ、「収益状況」はマイナス20.0ポイント、「業界の景況」はマイナス16.7ポイントと大きく悪化した。

水産食料品製造業からは「製造原価に係るコスト増を売値に転嫁しきれず赤字の状態から脱却できずにいる。新たな設備投資や既存設備の老朽化に伴う大型修繕などに踏み切れない」とのコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の4指標が改善。「売上高」「業界の景況」を含むその他4指標が悪化した。

地域クーポンや静岡県民割等による好影響が出る一方で、県内に大きな被害を及ぼした台風15号など天候不順による影響が数多く寄せられ、景況に影を落とした。

燃料小売業から「台風15号により県西部から中部にかけて給油所の設備機器に被害が出た。整備工場では、預かり車両が水没するなどの被害が出ている」と寄せられた。

(DI 値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2022年9月	0.0	-6.8	27.1	-16.9	-37.2	-23.7	-6.7	-10.1	-37.3
2022年8月	5.2	-6.9	32.8	-8.6	-29.3	-19.0	6.6	-13.8	-24.1
増減	-5.2 ↓	0.1 ↓	-5.7 ↓	-8.3 ↓	-7.9 ↓	-4.7 ↓	-13.3 ↓	3.7 ↑	-13.2 ↓

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減		
売上高	2022年9月	-3.3	-6.6 ポイント	↓	3.4	-3.7 ポイント	↓	0.0	-5.2 ポイント	↓	2022年8月	3.3	7.1	5.2
	2022年8月	3.3			7.1			5.2						
在庫数量	2022年9月	-10.0	-6.7 ポイント	↑	0.0	15.4 ポイント	↓	-6.8	0.1 ポイント	↓	2022年8月	-3.3	-15.4	-6.9
	2022年8月	-3.3			-15.4			-6.9						
販売価格	2022年9月	6.7	-13.3 ポイント	↓	48.3	1.8 ポイント	↑	27.1	-5.7 ポイント	↓	2022年8月	20.0	46.5	32.8
	2022年8月	20.0			46.5			32.8						
取引条件	2022年9月	-20.0	-3.4 ポイント	↓	-13.8	-13.8 ポイント	↓	-16.9	-8.3 ポイント	↓	2022年8月	-16.6	0.0	-8.6
	2022年8月	-16.6			0.0			-8.6						
収益状況	2022年9月	-50.0	-20.0 ポイント	↓	-24.2	4.3 ポイント	↑	-37.2	-7.9 ポイント	↓	2022年8月	-30.0	-28.5	-29.3
	2022年8月	-30.0			-28.5			-29.3						
資金繰り	2022年9月	-36.7	-23.3 ポイント	↓	-10.4	14.6 ポイント	↑	-23.7	-4.7 ポイント	↓	2022年8月	-13.4	-25.0	-19.0
	2022年8月	-13.4			-25.0			-19.0						
設備操業度	2022年9月	-6.7	-13.3 ポイント	↓					-6.7	-13.3 ポイント	↓	2022年8月	6.6	6.6
	2022年8月	6.6							6.6					
雇用人員	2022年9月	-10.0	-3.3 ポイント	↓	-10.3	11.2 ポイント	↑	-10.1	3.7 ポイント	↑	2022年8月	-6.7	-21.5	-13.8
	2022年8月	-6.7			-21.5			-13.8						
業界の景況	2022年9月	-46.7	-16.7 ポイント	↓	-27.6	-9.8 ポイント	↓	-37.3	-13.2 ポイント	↓	2022年8月	-30.0	-17.8	-24.1
	2022年8月	-30.0			-17.8			-24.1						

## 今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	0	0	0	2	2	0	0	1	0	3	0	2	0	1	0	0	0	1		
	繊維工業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	0	3		
	木材・木製品	0	3	0	1	0	2	0	2	0	3	0	1	0	3	0	1	0	3		
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	窯業・土石製品	0	2	0	1	2	0	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	2		
	鉄鋼・金属工業	2	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	1	1	0	2	0	3		
	一般機器	1	2	0	0	0	0	1	1	0	3	0	2	1	0	0	1	0	3		
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0		
	輸送用機器	4	1	2	1	0	1	0	2	2	2	0	1	3	1	2	1	2	1		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
非製造業	卸売業	1	2	1	0	3	0	0	2	0	3	0	1					0	1	0	3
	小売業	1	2	0	1	3	1	0	2	0	4	0	3					0	0	0	4
	商店街	1	2	1	1	3	1	0	1	1	2	1	1					0	1	1	1
	サービス業	3	0			2	0	1	0	3	0	2	0					1	0	3	0
	建設業	1	2			2	0	0	2	0	2	0	1					0	1	0	3
	運輸業	2	0			3	0	2	0	1	1	0	0					1	2	0	1

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・水産業界で特に必要とする冷蔵設備での、電気料金(燃油調整費)高騰による費用増大が、運営を危うくしている
	・電力料金やガス代、ガソリン代など製造原価に係るコスト増を売値に転嫁しきれず赤字の状態から脱却できずにいる。この状況が続けば赤字決算は免れず、新たな設備投資や既存設備の老朽化に伴う大型修繕などに踏み切れない。
織物	・生産コストの上昇と受注難。物価高の進展によりアパレル製品の購買意欲が低下すれば、さらに景況が悪化することもある。
	・業況は、好転していない。コストアップ要因が多く(海外からの原材料の高騰、加工工程の加工賃アップ等)受注もそれに伴って上向かず、仮需もあまりないため多品種少ロットの生産を余儀なくされている。この状況が続くそう。
宗教用具	・売上が好転している企業が一部あるものの、前年並みもしくは減少している企業が多くみられる。収益状況については資材高騰の割には値上げによって何とか吸収できているのが現状。
製材業、木製品	・台風15号により静岡市内山間地の街道があちこちで被害を受けた。大型車両の通行が制限され、原木の出材に支障が出ている。浸水の被害を受けた事業所もある。市況がデリケートな場面だけに、イレギュラーな要因による悪影響が危惧される。
印刷	・資材の値上げを受けてもらえない企業がまだある。最低賃金の対応により、更に厳しい状況となる。
骨材・石工品等	・設備維持費等の増加や燃料費のコストアップにより売上増でも収益に変化はない。全体的には売上は減である。
金属製品	・自動車メーカーの不安定な生産体制及び亜鉛等の原材料高。
	・全体的には上昇傾向にあるが、企業のばらつきが目立ってきた。
	・円高・電気料金の高騰
生産用機械器具	・材料費等については容赦なく値上げされてきているが、取引先の価格は上がらず、厳しい状況が続いている。
	・急激なインフレから、先行き景気減速懸念材料多く、最近の受注引き合い件数が一転減少傾向にある。
電気機械器具	・大型冷蔵庫は好調な販売が継続しており、高水準の生産が続いている。 ・家庭用・業務用エアコンは一部の輸入部品の調達問題が継続しているため制約はあるが、需要最盛期での部材の調達難による生産減少を補うためピーク時並みの生産となった。
輸送用機械器具	・原材料等高騰下、下請け製造業では価格転嫁(受注単価の見直し等)は、ブラックボックス化している。
	・部品の調達も徐々に回復しており生産量も回復してきた。ただ、原材料や物流費など調達コストの上昇もあり、収益改善には不安要素も多い。
	・新型コロナウイルスのBA変異種感染もいまだ高水準あるが、自動車産業をはじめとする製造業では、感染対応処もそれなりに慣れてきた状況の中で、生産活動は活発化している。
	・受注量が少なく厳しい状況が続いている。 ・自動車業界に於いて9月期は生産遅れ挽回計画が入り生産は順調に推移したが、10月期の生産は半導体の不足により生産調整が実施される見通しであり不安定な状況が続く。

#### 非製造業

セメント卸売業	・相次ぐ台風の影響により、2か月振りに前年実績を下回った。上期としては、公共・民需共に低調で前年割れとなる。
各種商品卸売業	・急激な円安、原油高、原材料高、輸送コスト増により製造原価がかつてないほど高騰しており、非常に厳しい経営環境となっている。

鮮魚小売業	・小売業については週末を中心に来客数がコロナ前の水準に戻つつあるが、売上の伸びにはつながっていない。業務卸も同様である。また、原材料やエネルギーの価格上昇に伴うコスト増で収益力の更なる悪化が懸念される。
燃料小売業	・先の台風15号により静岡県清水区・葵区の一部、川根町、磐田市など県西部から中部にかけて給油所の設備機器に被害が出た。また、整備工場を営んでいる事業者は、預かり車両が水没するなどの被害が出ている。
野菜・果実小売業	・相手方の状況によるので、その期間及び影響の大きさは一概には言えないが、台風15号の影響で、飲食店や給食への納入業がストップしたことで少なからず売上に影響が出ている。
各種商品小売業	・9月は連休に台風の影響があり、売上に影響した。24日は停電でほとんどの店が休業した。
	・9月にプレミアム率50%の地域クーポン券が販売され、好調な売れ行きであった。10月より使用できるので、売上UPに期待したい。
宿泊業	・昨年9月は、緊急事態宣言による行動制限で観光地は大変厳しい状況であったが、本年9月は行動制限もなく、静岡県民割が浸透し、さらに隣接県に対象が拡大されたことにより全体的に来遊客は増加傾向にあった。しかしながら、今後のコロナウイルス感染拡大の状況、各種燃料費や原材料仕入れ価格の高騰など、宿泊産業を取り巻く環境は依然厳しい状況が続くと予想される。
総合工事業	・資材の値上げが継続していることと、天候不順による施工高の減少により利益率が下がっている。来年度の工事予定の話がさっぱり聞こえてこない。
	・9月からプレート等の値上げの話が来た。また、その他の仕入れ材が10月から値上げとの話を仕入れ業者から聞いている。なかなか全体の価格が上がらないので加工費が圧迫されている。資金繰りの方も、仕入れ値が上がっているので楽ではない。
職別工事業	・資材の高騰、労務不足により価格への反映が困難になっている。労務不足ではあるが、材工一式の価格はそれ自体上昇している。しかし、利益に反映できるものでは到底ない。
道路貨物運送業	・荷物情報は、全体では昨年同月比、1～2割増加した。9月後半の台風15号により清水地区を中心に停電、断水、水浸等の被害が出ており、組合員の中に業務に影響が出てきているところがある。特に営業車両や倉庫浸水被害は深刻な状況となっている。また、会社自体は被害が無くても従業員の自宅が浸水し、出社することが出来ずに営業ができないという事態も発生している。
	・運賃交渉により価格転嫁すると同時に原価がそれ以上に高騰していく状況。運送業に見切りをつけて車両を減らしている経営者、同じく運送に見切りをつけて他業種に転職する労働者が増えてきている。
	・運賃価格は上昇している傾向に見えるが、荷動きがイマイチで効率が良くない。商品の値上がりにより、消費者が買い控えをしているのかもしれないが、どの業界も荷物が動いていないようである。また、機械や部品関係も調達に順調であるようには感じない。
道路旅客運送業	8月の輸送人員・運送収入とも前年同月をわずかに上回ったものの、コロナ前の同月と比較すると輸送人員がマイナス36%、運送収入がマイナス35%で、7月と比べそれぞれ8ポイントから7ポイント悪くなっている。第7波が落ち着いてきたことで回復してきているとの声も聞かれ、これから迎える観光需要期に期待する一方で、台風15号の豪雨災害で多数の車両が浸水する被害がでており、メンテナンス部品の供給遅れなど不安材料が残っている。

## 4.中央会・行政への要望

### 各種商品卸売業

- ・為替介入には限界があり、円安の状況も当面は変わらないだろう。自助努力では如何ともし難い。収益状況の悪化を補助金、助成金等で支援いただきたい。

### 各種商品小売業

- ・通常の経済活動を積極的に出来る政策をお願いしたい。

### 総合工事業

- ・この1年半程で仕入材は1.3～1.5倍程度上がっている。その結果、同規模の建物を受注した場合でも支払いが増えている。下請けへの支払い条件を改善出来ないか。例えば、契約時に50%程度の着金があると助かる。これから、資金繰りが悪化する業者が増えて来ると思われるので、国が改善策を出してほしい。

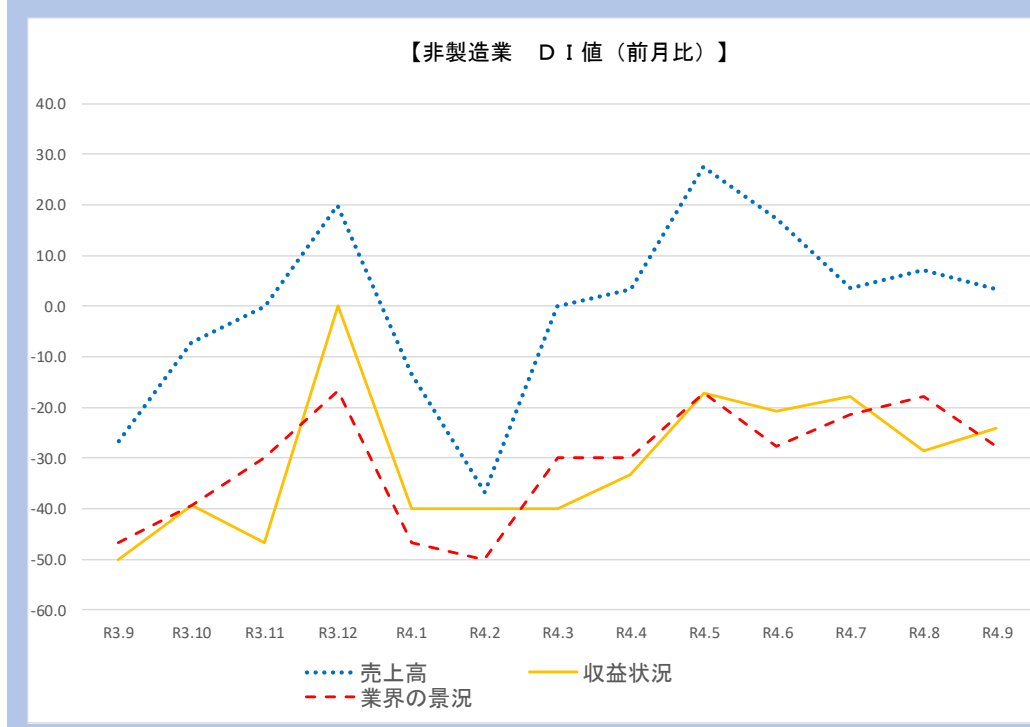
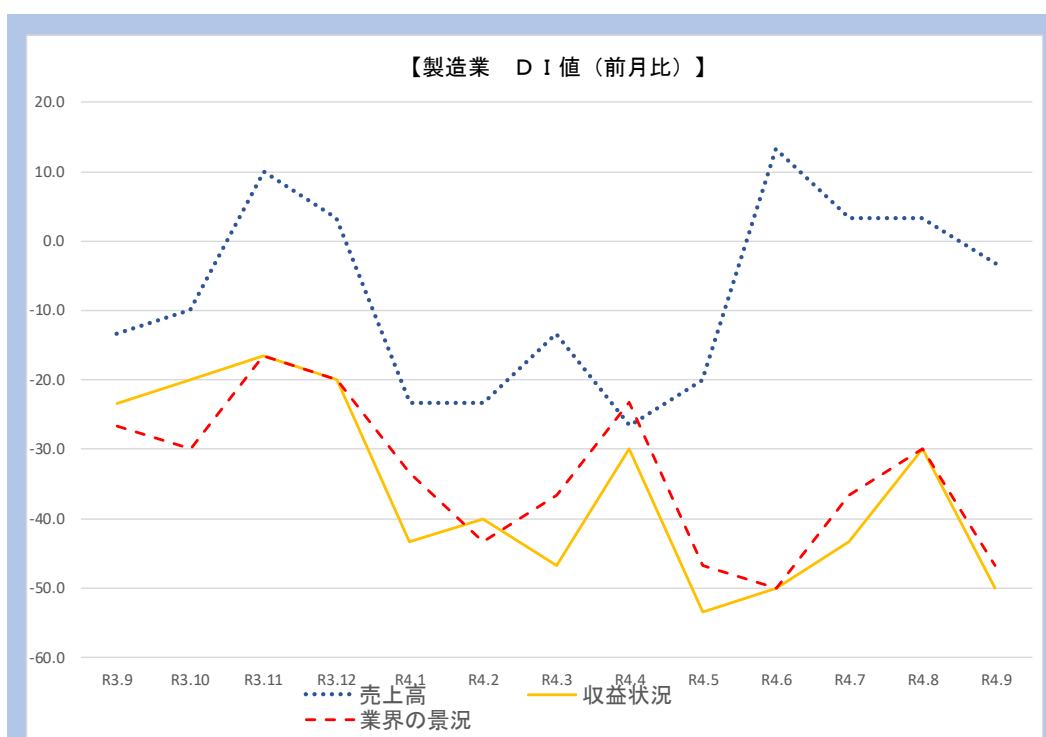
## 5. 主要三指標における DI 値の推移

■2021年9月期～2022年9月期までの推移

全体	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
売上高	-20.0	-8.6	5.0	11.7	-18.3	-30.0	-6.6	-11.7	3.4	15.3	3.5	5.2	0.0
収益状況	-36.7	-29.4	-31.7	-10.0	-41.7	-40.0	-43.3	-31.7	-35.6	-35.5	-31.0	-29.3	-37.2
業界の景況	-36.6	-34.5	-23.4	-18.4	-40.0	-46.6	-33.4	-26.7	-32.2	-39.0	-29.3	-24.1	-37.3

製造業	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
売上高	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3
収益状況	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0
業界の景況	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7

非製造業	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
売上高	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4
収益状況	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2
業界の景況	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6



■2021年9月期～2022年9月期までの推移

売上高	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
製造業	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3
非製造業	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4

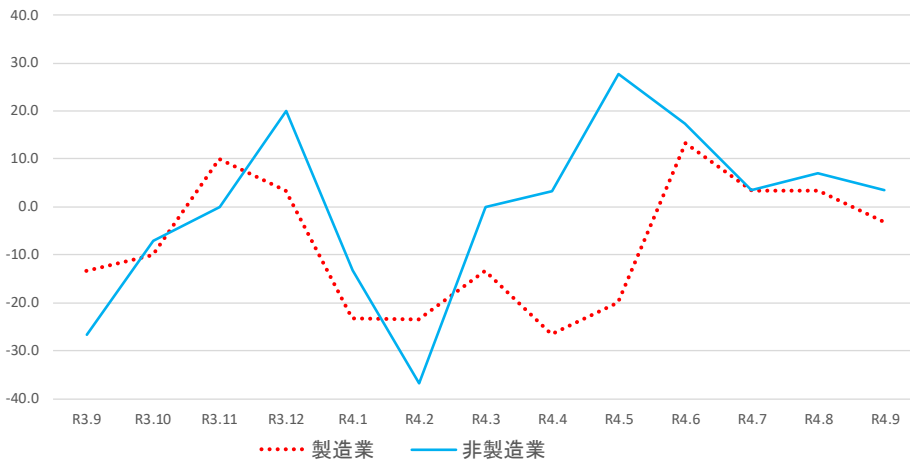
  

収益状況	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
製造業	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0
非製造業	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2

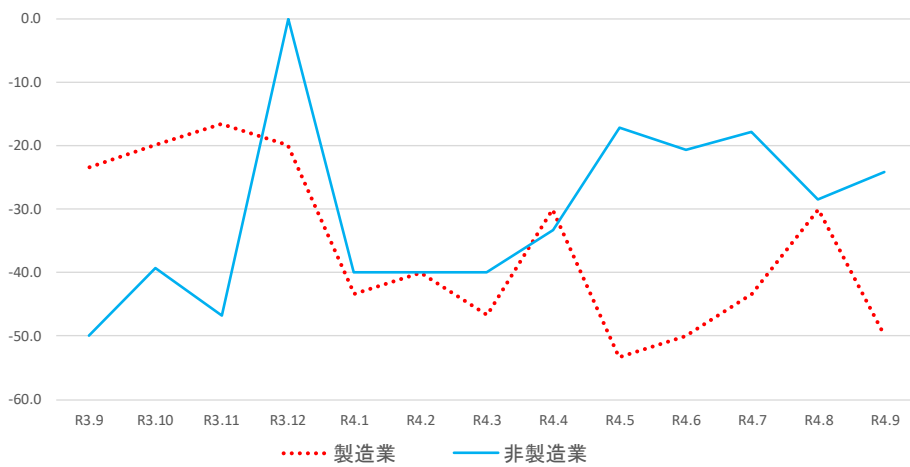
  

業界の景況	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
製造業	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7
非製造業	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】

